

平成29年度
事業報告書

社会福祉法人うめの木学園

1、利用者の状況

月	就労継続B型	生活介護	自立訓練	就労移行支援	入所支援
4月	38名	55名	0名	0名	48名
5月	38名	55名	0名	0名	47名
6月	36名	54名	0名	0名	47名
7月	36名	53名	0名	0名	46名
8月	36名	53名	0名	0名	46名
9月	36名	53名	0名	0名	46名
10月	36名	53名	0名	0名	46名
11月	36名	53名	0名	0名	47名
12月	36名	53名	0名	0名	47名
1月	35名	54名	0名	0名	46名
2月	35名	54名	0名	0名	46名
3月	34名	53名	0名	0名	45名
計	432名	643名	0名	0名	557名

月	うめの木ホーム	放課後等デイ	支援センター		
			日中ショートステイ	宿泊ショートステイ	相談支援
4月	7名	187名	23名	55名	22件
5月	7名	195名	28名	37名	19件
6月	7名	204名	22名	49名	20件
7月	7名	214名	30名	53名	28件
8月	7名	192名	37名	37名	20件
9月	7名	216名	27名	42名	14件
10月	7名	207名	25名	68名	13件
11月	7名	200名	22名	46名	14件
12月	7名	200名	22名	48名	22件
1月	7名	182名	17名	23名	18件
2月	7名	148名	21名	48名	15件
3月	7名	201名	19名	55名	21件
計	84名	2,346名	293名	561名	226件

ただし、放課後等デイと支援センターは、利用延べ人数を記載。

2、行事報告

月	日	事業内容	備考
4	21	健康診断(入所のみ)	利47名
	29	うめの木喫茶	
5	25	新年度初会合	利87名、職36名
	28	石川県障害者スポーツ大会	利9名、職4名
	30	理事会	
6	15	金平町老人会との交流会	老人会18名
	15	歯科検診	石川県歯科医師会2名、利86名
	15	評議員会、理事会	
	17	うめの木喫茶	
7	13	理事会	
	22	保護者会	
	25	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
8	4	輪踊り	利90名、職44名、保ボラ8名 民謡会13名、中村梅華先生 魚国総本社1名 学生ボラ4名 地域住民多数
	22	いしかわミュージックアカデミーミニコンサート	利83名、職27名、支援学校60名 一般10名
9	7~8	学園旅行・第1陣(富山コース)	利22名、職12名
	10	福祉ふれあいフェスティバルin小松	利44名、職10名
	14~15	学園旅行・第2陣(静岡コース)	利32名、職10名
	24	県障害者ふれあいフェスティバル出店	
	27	学園旅行・第3陣(日帰りコース)	利24名、職19名
10	7	学園祭	利85名、職51名、保ボラ20名 学生ボラ3名、魚国総本社 金野保育所、小松中央合唱団 STAY、リエントRクラウド 小松華舞妓、洞月太鼓
	10	理事会	
	31	婦人科検診	利23名
11	5	ふれあい松東まつり出店	
	11	保護者会	
	14	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
	18	うめの木喫茶	
	24	後期定期健康診断 <身体計測、血圧測定> <嘱託医健診、検尿> <胸部X線>30日実施 <血液検査> <心電図> インフルエンザ予防接種	利76名 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所・通所全員 対象…入所 対象…入所の40歳以上 利68名、職29名

月	日	事業内容	備考
12	14	入魂式、昼食会(長沖)	利69名、職26名、保1名
	21	クリスマス会	利83名
	23	うめの木喫茶	
2	17	うめの木喫茶	
	20	理事会	
3	17	うめの木喫茶	
	27	避難訓練	日中活動中、通所棟のみ、夜間想定の3パターンで実施
	29	理事会	

3、職員の研修状況

月	日	研修内容	参加者
4	26	福祉協会総会	支援員 1名
5	12	経営協研修会	施設長 1名
	23	ボランティアコーディネーター研修会	支援員 1名
	30	認定調査員研修	サビ管 2名
6	14~15	障害施設初任者研修	支援員 1名
	21	障害施設リーダー研修	支援員 1名
7	4~7	安全運転管理者・指導者研修	支援員 1名
	4	食品衛生責任者研修会	支援員 1名
	6~7	北陸地区知的障害関係研修会	支援員 2名
	13	体験型交通安全研修会	支援員 2名
	14	障害施設リーダー研修	支援員 1名
	21	県経営社セミナー	施設長 1名
	27	雇用管理講習	施設長 1名
8	28	福祉の仕事講習	支援員 1名
	30~31	障害施設中堅職員研修	支援員 1名
	30	リスクマネジメント実践研修	支援員 1名
	30	発達障害支援センターアセスメントツール研修会	相談員 1名
9	1	リスクマネジメント実践研修	支援員 1名
	5	公正な採用推進研修会	事務長 1名
	15	相談支援部会・地域支援部会合同研修会	事務員 1名
	14.20~21	強度行動障害支援者養成研修	支援員 1名
	26~27	相談支援従事者初任者研修	支援員 2名
	27~28	全国知的障害関係職員研究大会	支援員 1名
10	6	感染症予防研修会	支援員 2名
	13	職場環境改善研修会	支援員 2名

月	日	研 修 内 容	参 加 者
10	18~19	防火協会視察研修	支援員 1名
	30	ボランティアコーディネーター学習会	支援員 1名
11	8	サービス管理責任者研修	支援員 2名
	13	ノロウィルス研修会	看護師 1名
	14	経営協監事研修	施設長 1名
	15~16	虐待防止・権利擁護研修会	支援員 1名
	17	北陸地区障害者支援部会施設長会	施設長 1名
	22	県福祉協障害者支援施設部会研修会	サビ管 1名
	29	福祉サービス苦情解決研修	支援員 1名
12	7~8	サービス管理責任者研修	支援員 1名
1	20	北陸地区福祉協地域支援、相談支援合同研修会	相談員 1名
2	14	パワーハラスメント防止研修会	支援員 1名
	15	地域生活援助研修会	相談員 1名、支援員 2名
	24	サービス管理責任者現任研修	サビ管 1名
	26	緊急時の介護講習会	看護師 1名
3	8	就労支援事業所との意見交換会	施設長 1名
	14	就労支援基礎研修	支援員 1名
	16	支援施設部会施設長会	施設長 1名
	23	県事業者説明会	施設長 1名、事務長

4、ボランティア受入状況

月	日	活 動 内 容	名 称 等
5	20	草刈り	保護者会 17名
	27	歌謡ボランティア	紬の会 15名
7	13~14	職場体験	コマニー(株) 5名
	19	窓ふき外	小松たばこ販売組合11名
8	1	輪踊り	小松郷土民謡会14名 魚国総本社、保護者8名 学生 4名
9	30	草刈り	シルバー人材センター会員 25名
10	8	学園祭	利85名、職51名、保ボラ20名 魚国総本社、学生ボラ3名、金野保育所 小松中央合唱団、小松華舞妓 リエントRクラウド、STAY、洞月太鼓
11	29	紙芝居	一般 1名
12	21	マジック(クリスマス会)	一般 1名

○クラブ活動等定期ボランティア

* 太鼓クラブ	* コーラスクラブ	* ビーズクラブ	* 3B体操
---------	-----------	----------	--------

○うめの木ボラ パン販売・出前喫茶ボランティア

(1) 定期

- ① パン販売 老人施設(みゆきの郷) 月2回 市役所販売 月1回
能美健康センター 月1回
- ② 出前喫茶 老人施設(愛ランド萌寿) 毎週火曜
学園において 月1回

(2) イベント関係

地元イベント、小松市・能美市主催イベント、福祉関係イベントなどに出店

○その他定期ボランティア

- * 出張散髪 村田理容店(月2回)
- * アロママッサージ 川崎氏 (年4回)

5、施設視察・見学及び実習の受入状況

月	日	受入内容	名称等
7	24~26	職場体験事業	小松特別支援学校生 2名
	24~8/4	福祉施設現場実習	金城短大生 2名
8	17~30	福祉施設現場実習	金城短大生 2名
	21~25	介護等体験実習	石川県立大学 1名
	28~9/1	介護等体験実習	金沢大学 1名
9	4~8	介護等体験実習	明星大学 1名
10	16~20	介護等体験実習	金沢大学 1名
11	6~17	福祉施設現場実習	県立保育専門学園 1名

6、補助事業の状況

今年度該当なし

7、学園内整備事業 (自己資金による整備) ※100万円以上掲載

- ①電解水生成装置(6台) 2,664,360円

8、苦情解決制度利用状況

※ 1件の苦情申し出がありました

苦情申出者	解決状況	内容等
近隣住民	解決	【内容】 学園駐車場から、職員のものと思われる車両が一旦停止せず公道に進入してきた。交通ルールを守って安全運転を徹底するよう改善を求められた。 【結果】 朝礼及び職員会議において、施設長より、苦情があった旨説明。運転マナーに留意すること及び交通安全の徹底について指導。

9、ヒヤリ・ハット報告状況

※本年度において、ヒヤリ・ハット報告書の提出件数は36件でした。

○内容	① 転倒	7件	(8件)
	② 送迎ミス	0件	(1件)
	③ 誤薬	2件	(1件)
	④ 無断外出	2件	(0件)
	⑤ 他害行為	10件	(4件)
	⑥ その他	15件	(3件)

※()は昨年度件数

10、地域における公益的な取り組み

(1) 施設の地域開放

- ① 小松市との間で『福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定』を締結
- ② 石川県立小松特別支援学校に駐車場を提供（行事等に際し）
- ③ 石川県立小松特別支援学校にミニコンサート会場として体育館を提供
- ④ 地区消防分団に訓練場所の提供（競技大会参加に際し）
- ⑤ 地元老人会に活動場所を提供（交流会実施後の会議場所）

(2) 地域づくり活動

- ① 限界集落になっている地元町内の公民館等周辺の草刈り及び除雪
- ② 高齢化が顕著になりつつある稲作農家に対し、低料金にて、育苗箱の引き取り、洗浄、JAへの返却を代行

- ③ 地域行事の際のテント貸し出し、職員派遣、物品販売の協力
- (3) 実施している社会福祉事業の延長上の活動
 - ① 生活困窮利用者(通所)の食費免除
 - ② 家庭の特別な事情を考慮した営業時間外のサービス提供 (早朝等)
 - ③ 課題を有する保護者を持つ児童への特別のかかわり (入浴支援等)
- (4) 実施している社会福祉事業を受け皿とした公益的活動
 - ① 障害者手帳を有する職員3名を雇用
- (5) 社会福祉の向上に向けた活動
 - ① 福祉系大学・短大及び専門学校からの実習希望者を積極的に受け入れ
 - ② 社会福祉協議会等が実施する福祉の仕事体験希望者を積極的に受け入れ
 - ③ 地元の特別支援学校生徒の実習及び職場体験の積極的受け入れ
 - ④ 全国障害者スポーツ大会への職員派遣 (役員として)
- (6) その他の活動
 - ① ペットボトルのキャップをワクチンに交換する事業(エコキャップ運動)に協力
 - ② 公益財団法人が実施している義援金活動に協力 (職員による100円募金)

※厳密に言えば、厚生労働省が定義する「地域における公益的な取組」に該当しないものが含まれますが、地域に存する多種多様なニーズに対する取組として、直接的あるいは間接的に地域福祉増進や地域活性化につながり得るものを記載しました。

11、放課後等デイサービス事業における自己評価の実施

放課後等デイサービス事業において、管理者と現場職員それぞれの視点から、平成29年度提供サービス分について自己評価を行いました。

評価結果については、次頁に掲載し、本「事業報告書」をもって公表することとします。

また、自己評価と併せて、保護者にもアンケート調査という形で評価を依頼しました。結果については、集計の上、書面にて保護者にお伝えしました。

		チェック項目	管理者の観点	現場職員の観点	分析結果
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○	*活動スペースは、十分過ぎるくらいの広さを有しており、保護者の満足度も高い。また、職員配置は基準を大きく上回っており、適切である。 *玄関及び大人用トイレ以外はほぼ段差なし。完全バリアフリー化が子ども達の発達・成長にとって良いことなのかどうか、疑問である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○	○	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	×	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△	△	*職員間の情報共有、事業所・保護者間での情報共有については不十分である、との結果になった。情報共有は、業務改善の有効手段になるので、今後重点的に取り組む必要がある。 *自己評価結果を業務改善につなげるため、研修機会を設ける必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△	△	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	△	×	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	×	×	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	△	△	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	*アセスメント、デイサービス計画、モニタリングの流れは、適切な時期に適切に実施されている。 *通常時は、利用時間が短いこともあり、デイサービス計画の内容を全て活動プログラムに反映させることは難しいが、長期休暇時のプログラムは充実している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	×	△	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	△	△	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	△	△	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	△	○	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	△	○	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	×	△	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	×	△	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	×	○	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	△		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	△	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	*当事業所が特別支援学校と隣接しているという特徴を活かして、特別支援学校との情報交換・共有は有効に行われている。 *複数の事業所を利用する児童については、各事業所と情報交換・共有を積極的に行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	△	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	△	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	×	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	×	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	×	×	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	*運営規程等の必要事項については、利用契約時に書面をもって説明している。 *保護者会については、実施されておらず、今後改善が必要である。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	×	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△	×	
	35	個人情報に十分注意しているか	○	○	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	△	○	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△	×	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	×	×	*マニュアル等については、作成されているが、職員への周知が不十分な状況にある。 *訓練や研修は定期的には実施されている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	△	

○ …はい

△ …どちらともいえない

× …いいえ

— …該当なし